



優勝曲で大会のフィナーレを飾る木村さん

地元の声援受け木村久さんがチャンピオン

8月24日、第41回上げんと杯争奪のど自慢大会の準決勝、決勝が松の館で開催され、予選を勝ち抜いた歌手が、延べ2,000人の聴衆の前で自慢の歌を披露。審査の結果、つがる市の木村久さんがチャンピオンに輝きました。

準決勝には、予選で県内外の110人から選ばれた30人が出場し、うち10人が決勝に進出。決勝で木村さんは「北の出世船」を歌い、特別審査員を務めた作曲家・西つよしさんから「こぶしの回し方、音程、情感、バランス全てが良かった。まさにつがるのヒーロー」と高い評価を受けました。大会に20回出場し4度の準優勝を経験している木村さんは「げんと杯ファンの応援のおかげ。何とも言えない、感無量です」と喜びを語りました。

瑞穂小・柏小の合同チームが国際大会3位

瑞穂小と柏小の少年野球合同チーム「つがる市選抜」が、7月29日から31日に仙台市で開催された「2019 SENDAI-CUP 国際少年軟式野球大会」で3位入賞しました。

野球を通じて児童の国際感覚の養成と友好・親善を図るこの大会。予選を勝ち上がった東北4チームと台湾2チームの計6チームが出場し、総当たり戦の結果、つがる市選抜は2勝2敗1分けの成績を収めました。

8月26日、メンバーは福島市長に喜びを報告。高橋俊喜主将(柏小6年)は「瑞穂と柏が一緒になって、チームワーク良く戦えたので良かった」と大会を振り返りました。福島市長は「鍛えた体力でスポーツも勉強もがんばって」と激励しました。



報告に訪れた「つがる市選抜」のメンバー



体育館で行われた音楽会

心に響く音楽鑑賞

学校地域連携事業の一環として9月4日、稲垣中学校(工藤勝昭校長)で北部航空音楽隊演奏会が行われました。

北部航空音楽隊は、昭和51年に航空自衛隊三沢基地に新編された音楽隊で、主に北東北や北海道で年間約120回の演奏活動を実施。市内では、平成22年度から小中学校で演奏会を開催しており、今年で9年目となります。

今回は、同校生徒のほか稲垣小の児童や地域住民ら約250人が体育館に集まり、迫力ある吹奏楽の演奏を楽しみました。指揮者を体験した藤田頼斗君(稲垣中3年)は「自分の指揮に合わせて演奏が早くなったり遅くなったりして楽しかった」と貴重な体験談を話していました。

柔道「形」で聖地・講道館へ

7月20日開催の第8回東北少年柔道形競技会(仙台市)で、木造柔道少年団に所属する田戸岡樹君(瑞穂小6年)と豊嶋大翔君(向陽小6年)のペアが準優勝し、10月14日に講道館(東京都)で開催される全国大会への出場を決めました。

柔道の形は、技を掛ける「取(とり)」と技を受ける「受(うけ)」の2人1組で行われ、技の切れや間合いなどを審査。大会では、田戸岡君が「取」、豊嶋君が「受」を務めました。

9月4日、選手らは福島市長へ全国大会出場を報告。田戸岡君は「全国優勝を目指して、もっと真剣に練習をがんばる」、豊嶋君は「全国大会のプレッシャーに負けないで優勝を目指す」と力強く語りました。



「取」の田戸岡君(左)と「受」の豊嶋君(右)

地域を見守るウォーク大会

9月7日、むらおこし拠点館フラットを主会場に「第16回地域安全ウォーキングin車力」が開催され、市内外の家族連れやウォーク愛好家ら約180人が、気持ちのいい汗を流しました。

参加者は5km、9km、15kmのコースごとにスタート。真夏日となったこの日、汗ばむ陽気の中でこまめに水分を取りながら、それぞれのペースでゴールを目指しました。ウォーク終了後は、地元食材を使った砂丘麦とろ飯としじみ汁の振る舞いやお楽しみ抽選も行われ、参加者は楽しい1日を過ごしました。

大会実行委員会の松橋俊造委員長は「地域の安全は自分たちで守って行くという気持ちを普及啓発する機会として、これからも続けて行きたい」と話していました。



ウォークを楽しむ参加者



患者の体格に合わせた心臓マッサージの手法を体験

いざという時実践したい

9月9日、市民に応急手当の知識を普及啓発しようと「応急手当普及イベント2019」が市農産物直売所(柏)で開催されました。これは、9月の救急医療週間(9月9日救急の日を含む日曜日から土曜日までの1週間)に合わせて市消防本部が毎年行っているものです。

イベントでは、市の救急救命士が講師を務め、心肺蘇生法の実技講習などを実施。訪れた市民らは、体験用のAEDやダミー人形を使って熱心に応急手当の手順を学んでいました。実技講習に参加した今弘子さんは「前から関心はありましたが、実際にやってみたのは初めて。難しくなかったので、いざという時に実践できそうです」と話していました。

野呂・片山ペアが東北大会へ

7月28日開催の県小学生バドミントン選手権大会(青森市)の女子ダブルス5年生以下の部で、五所川原ゴールデン・クラブ(野呂尚司監督)に所属する瑞穂小5年の野呂悠衣さんと片山瑠海さんのペアが準優勝し、10月11日から開催される東北大会(由利本荘市)への切符を手に入れました。

2人は3年生の時にダブルスを結成。県大会では、俊敏で機転が利いたプレーが持ち味の野呂さんと、力強く得点を決める片山さんの息の合ったプレーで、決勝まで勝ち進みました。

9月12日、2人は福島市長を訪問し、野呂さんは「緊張せず試合に臨み、1つでも多く勝つ」、片山さんは「出来ることは全部やって東北大会でも勝ち進みたい」と抱負を語りました。



抱負を語った片山さん(左)と野呂さん(右)



あぶらめくん(階上町)を押し倒し

つがるちゃんが連覇!!

青森県全国ゆるキャラすもう大会(荒谷政志大会実行委員長)が9月15日、イオンモールつがる柏で開催され、県内25体の精鋭が熱戦を繰り広げました。

大会には、行司役や応援参加も含めて31体が集結。序盤はゆるい押し合いが続きましたが、取り組みが進むにつれ、土俵上はゆるくない戦いへと変貌。勢い余って頭部が取れるハプニングなども来場者を盛り上げ、会場は大歓声に包まれていました。

連覇の期待がかかるつがるちゃんは、地元の声援を受け安定した戦いで決勝戦に進出。相手は、昨年準優勝で雪辱に燃えるねばっち(十和田市)でしたが、横綱相撲ではね返し、寄り切りで見事勝利。全5戦を制して2年連続の優勝を果たしました。